

# より深い 理解のために

養殖業向けサービス概要ガイド

認証への新たなアプローチ

LRQA

# 安全かつ持続可能な養殖

安全で責任を持って調達された水産物を消費者が望むようになってきているため、養殖業者にとって、生産する水産物の安全性と品質を確保することがますます不可欠になっています。このことは、環境への影響を低減し、当セクターで雇用されている従業員の福祉を確保する必要性に加えて、組織はサプライチェーン全体にわたって保証を提供する必要があることを意味します。

## 養殖業向けサービス

LRQAは、当社の専門チームの詳細な知識と技術的専門知識を組み合わせ、安全で持続可能な養殖の保証に関するエンドツーエンドのソリューションを提供します。

LRQAには、すべての主要な養殖種グループ(ヒレのある魚類、軟体動物、甲殻類、海藻類)に加えて、関連する養殖生産システムに30年にわたり関わることで培われた世界的な知識と経験があります。

## サービス内容には以下のようなものがあります。

- 一次生産ならびに関連する飼料、加工、サプライチェーンの要求事項を踏まえた、世界市場で利用可能な認定およびGFSI承認養殖スキームの全範囲に対する評価と認証。
- サステナビリティの方針と規格に照らしてカスタマイズされた審査と評価。
- サプライチェーンのトレーサビリティと認定Chain of Custody (COC) 規格の全面的かつ継続的なサーベイランス評価、カスタマイズされたサプライヤー管理スキーム。
- カスタマイズされたマネジメントシステムの報告書作成と主要データのダッシュボード作成が可能。



# 養殖スキームと規格

お客様と緊密に協力し、カスタマイズされた保証ソリューションも含めて、ビジネスニーズに合った適切な規格とスキームを特定します。

## 水産養殖管理協議会養殖場基準 (ASC)



ASCが目指しているのは、責任を持って養殖された水産物に関する世界有数の認証・ラベリングプログラムとなることです。ASCは、WWF Aquaculture Dialogues (養殖管理検討会) で策定された責任ある養殖に関する世界基準の管理を主な役割としています。

LRQAはASCの養殖場基準をいち早く採用しており、世界中でサケ、マス、スズキ、タイ、ムール貝、エビの生産者の監査を行っています。

業界の幅広い支持を得ている当セクターの画期的な規格であり、継続的改善を推進することにより、商業養殖場の環境的・社会的影響を最小限に抑えるように設計されています。大手小売業者からの要望が高まっているASC認証製品は、これをサポートするChain of Custody規格を通じて、生産者から消費者の食卓まで追跡することもできます。

[ASC認証の詳細はこちら →](#)

## Best Aquaculture Practices (ベストプラクティス養殖) (GSA BAP)



世界水産物連盟には、すべての利害関係者と協力して、責任ある養殖開発の理念をできるだけ多くの生産者にもたらそうという決意が設立当初からありました。

そのために、厳格かつ包括的なBest Aquaculture Practices (BAP) 施設認証規格を策定しています。

LRQAは、飼料工場、孵化場、養殖場、加工施設についてGSA BAP認証を提供できる数少ないサービスプロバイダーの一つです。

最も急速に拡大している国際養殖規格の一つであるGSA BAPは、関係する事業が可能な限り高い基準を確実に満たすことを目指し、動物福祉、食品安全、環境責任などの分野に焦点を当てています。ご興味のある方は、直接GSAに申請していただくか、LRQAにご連絡いただければ、必要な認証取得のお手伝いをさせていただきます。

[GSA BAPの詳細はこちら →](#)

# 養殖スキームと規格

## GLOBALG.A.P. 養殖基準

### GLOBALG.A.P.

GLOBALG.A.P.は作物、家畜、養殖の3つの範囲について16の基準を規定しています。

GLOBALG.A.P.は120カ国以上で530以上の認定製品と17万以上の認定生産者を有し、信頼と整合性を獲得できる強固さと、革新と卓越性を促進できる柔軟性を合わせ持った健全な基盤を備えています。

LRQAであれば、孵化場と養殖場の両方で、ヒレのある魚類、甲殻類、軟体動物のすべてのGLOBALG.A.P.養殖種の範囲を審査することが可能です。さらに、養殖用飼料を生産する複合飼料メーカーとChain of Custody (CoC) 要求事項の監査・認証ができます。

認証では、生産プロセス全体にわたって食品安全、労働安全衛生、動物福祉、環境への配慮について審査します。

[GLOBALG.A.Pの詳細はこちら →](#)

## The MSC- ASC 海藻(藻類)基準



海洋管理協議会 (MSC) と水産養殖管理協議会 (ASC) は、環境的に持続可能で社会的に責任のある新しい海藻基準の開発において協力してきました。

ASC-MSC海藻(藻類)基準は、野生個体群の収穫と養殖海藻生産(養殖場)の両方を含む、すべての場所と規模の海藻事業に対して世界的に適用されます。

LRQAは、ますます普及が進むこの新基準に照らした評価・認証を提供する認定を受けています。

[MSCの詳細はこちら →](#)



# LRQAを選ぶ理由

LRQAは、国際的に認知された専門的な審査と検査を幅広く提供しています。LRQAの養殖専門家チームは、飼料生産、単一および複数拠点を持つ国内ならびに国際的な生産会社、すべての主要な養殖種グループ、養殖生産システムなど、セクター全体でグローバルに活用される、幅広く実用的な業界の専門知識を備えています。

認証からアドバイザリーサービス、教育研修、革新的なオンラインソリューションに至るまで、LRQAはお客様と協力して、直面しうる問題に対処するために提供するサービスをカスタマイズします。

LRQAは、スコットランドのヒレ魚養殖のための適正実施基準、スコットランドの養殖サーモンのラベルルージュ基準、スコットランドの養殖サーモンの地理的表示保護 (PGI) を含む、Scottish Salmon Producers Organisation (スコットランドサーモン生産者組織) に対する認証サービスの主要プロバイダーとして30年以上の経験を有しています。当社の知識により、お客様がグローバル市場で製品を販売する際に最高品質を維持するための支援が可能です。

当社は、GLOBALG.A.P.を提供する最初の認定機関です。IFA (総合農場認証) 水産養殖および複合飼料工場で、この養殖基準の認証に関する有力プロバイダーです。

養殖場と加工施設の両方で、複数の規格に照らした審査とスケジュールを組み合わせたサービス提供をいち早く始めており、現場での監査時間を短縮し、複数の規格への認証が必要なお客様のコストを管理しています。

LRQAではお客様の課題を理解し、堅牢かつ実用的なアプローチを採用しています。当社のサービスが焦点を置いているのは、関連するさまざまなメリットを通じてお客様に価値を提供することです。

- 食品・飲料セクターの実務的特徴を理解している経験豊富なチームによる、技術的専門知識とセクター固有の深い洞察。
- セクターで利用可能な1つ以上の主要規格に照らした認証を選択することにより、競合他社に対する競争優位性を確保。
- 市場をリードするテクノロジーにより、コンプライアンスの審査と洞察を、効率的かつコスト効率の高い方法で提供。
- 増大する小売業者・消費者の需要を満たすための運用ライセンス。さらに、ASCやGSA BAPなどの多くの規格が、現在と将来の法令遵守を促すような環境面の規律を導入。
- 時間とコストを節約できる統合された評価。
- サプライチェーンのどの部分でも製品の安全性を保証できる、ブランドの評判とリスクのマネジメント。

戻る 次へ



# Fresh thinking

## LRQAについて

認証、ブランド保証、教育研修における比類のない専門知識を結集したLRQAは、食品の安全性と保証のソリューションを提供する世界有数の組織です。農家、水産業者、食品メーカー、レストラン、ホテル、グローバルな小売業者との協力のもと、サプライチェーンの全過程で食品安全とサステナビリティに関わるリスク管理をサポートし、世界有数の保証プロバイダーとなりました。

当社には誇るべき伝統がありますが、本当に重要なのは現在の当社の姿です。なぜなら、それこそが明日のクライアントとのパートナーシップを形成するからです。強固な価値観、数十年にわたるリスクマネジメントと緩和の経験、そして将来への強い関心を組み合わせることで、より安全、安心、持続可能なビジネスの構築に向けてクライアントを支援します。

独立監査、認証、教育研修から、技術顧問サービス、リアルタイム保証技術、データ駆動型のサプライチェーン変革まで、当社の革新的なエンドツーエンドのソリューションが、急速に変化するリスク環境への対応を支援し、お客様が未来の状況を成り行きに任せるのではなく、自ら未来を形成できるようにいたします。

## お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/>をご覧ください。



LRQA リミテッド  
〒220-6010  
横浜市西区みなとみらい2-3-1  
クイーンズタワーA10 階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。

詳細については[www.lrqa.com/entities](http://www.lrqa.com/entities)をご参照ください。 © LRQA Group Limited 2023

YOUR FUTURE. OUR FOCUS.